

第4学年 道徳学習指導案

日時 平成16年 11月 9日(火) 授業
学級 4年2組 男16名 女15名 計31名
授業者 堀合葉子

総合単元名 見つめよう 高めよう 10才のわたし

総合単元のねらい

自分でやろうと決心したことは粘り強くやりとげる態度を養う。

総合単元的な道徳学習の構想について

(1) ねらいとする価値について

4年生の子供たちは、自分の興味関心の向くことには精一杯取り組み元気に活動している。目新しい活動や楽しいことには目を輝かせて取り組むが、地道に取り組まなければならないことや自分の苦手なことに目をむけ、自らを高めようとする子は少ない。しかし、自分の趣向に左右されず全体のことに目を向け客観的に考えられるようになってきているこの時期に、自分を振り返り、どんなことが何のために必要で大切なのかを考え、自分を高めるために努力しようとする態度へ結び付けていきたいという願いから、本単元を設定した。

本単元では、「出会う」の段階でオリエンテーション「自分を高めようー行動で示そうー」や学級活動で個人のめあてを振り返り、自分でできることは進んでやろうとする気持ちをもたせ、「深める」につなげていきたい。「深める」の段階では、自分の苦手とすることにもあきらめずに辛抱強く取り組むことの大切さに気づかせ、自分の目標に向かって努力しようとする心情を育てていきたい。それをもとに「生かす」では、自分の苦手とすることを克服しようめあてに上げ逃げずに努力して取り組むことで達成に近づいていってることが実感できるようにスモールステップでめあてに取り組ませていきたい。

子どもたちの節度ある生活・不とう不屈に関わっての実態について知るために、意識調査を行った。結果は、以下の通りである。

節度のある生活に関わって

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1 あなたの部屋やつくえは、きれいにかたづいていますか。 | |
| いつも片付いている。 まあまあ片付いている。 | 51人 |
| あまり片付いていない。 いつも片付いていない。 | 10人 |
| 2 自分から進んでやっていますか。 | |
| いつも進んでやっている。 ときどきする。 | 54人 |
| ほとんどしない。 しない。 | 7人 |

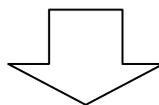
不とう不屈に関わって

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 苦手なことはありますか。 | |
| はい | 48人 |
| いいえ | 13人 |
| 2 それはどんなことですか。 | |
| 勉強(漢字、計算、楽器・・・) 手伝い(茶わん洗い 風呂掃除・・・) 運動(跳び箱、鉄棒、・・・) | |
| 発表 忘れ物 片付け 食べ物(好き嫌い) | |
| 3 それに対して努力したことはありますか。 | |
| ある | 52人(ア 努力し続けた 39人・イ 途中であきらめた 13人) |
| ない | 8人 |
| 4 それはなぜですか。 | |
| ア できるようになりたい。 弱い心のままだとどんどん弱くなるから。 | |
| イ どうせだめだから。 面倒くさい。 | |

意識調査の結果から、片付けが大体できているとなっているが、子どもたちの学校での実態や保護者の話から判断すると子どもの認識が甘いことが見えてくる。

総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科	特別活動	日常生活	家庭・地域
出会う	10月 3週	<ul style="list-style-type: none"> 今の自分を振り返ろう。 成人までの半分になった。 来年は高学年、胸を張ってなりたい。 	オリエンテーション 心のノート p 20 ~ 21 ・今の自分を見つめ、これからのことを考えさせる。			
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは、しっかりやろう。 	学級活動「マラソン大会」に向けて目当てを立てさせる。 「できること探しゲーム」今の自分を振り返り自覚させる 道徳の時間（本時） 主題名 自分のことは自分で 1 - (1) 節度ある生活態度 資料名 「ぼくの部屋」（出典：東書） ねらい 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をしようとする心情を養う。			
深める	11月 3週	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めたことは、やり抜こう。 	学級活動「めあての振り返り」自分を高めるために目標を持ってチャレンジさせる。 「やりとげられたら金メダル」めあてに向かって取り組ませる。			
	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> 金メダルを目指してがんばろう。 がんばってよかった。これからもいろいろなめあてに向かってがんばろう。 	道徳の時間（1時間） 主題名 くじけず最後まで 1 - (3) 不とう不屈、努力 資料名 「ぼくのへんしん」（出典：東書） ねらい 自分でやろうと決心したことは、粘り強くやりとげようとする態度を養う。			
生かす	12月 1週	<ul style="list-style-type: none"> もっとがんばれる自分になりたいな。 夢に向かってがんばりたいな。 	作文メモ 4年生の思い出、将来の夢に取り組ませる。 心のノート p 23 「やりとげられたら金メダル」で自分のめあてに粘り強く取り組ませる。 10才を祝おう 1/2 成人式 これまでの自分のがんばりとこれからの自分の夢に向かって取り組ませる。			



もっとすばらしい自分になるために、めあてを持ってやりとげようとする子ども

本時の指導

- 1 主題名 自分のことは自分で (1 - (1) 節度ある生活態度)
- 2 資料名 「ぼくの部屋」(出典:「ゆたかな心で」東京書籍)
- 3 ねらい

自分のことは自分でやり、節度のある生活をしようとする態度を養う。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値に付いて

指導内容中学年1 - (1)は、「自分でできることは自分でやり、節度ある生活をする。」と示されている。特にこの時期は自立の面が強調され、自ら考えて度を過ぎさない節度のある生活ができるようにすることが大切である。中学年になって、自分一人でできることがふえてくる。しかし、まだ幼い面があり、自分でできるという実感がわきにくいものである。また、はじめに関しては、まだ自覚ができず、身に付いているようで付いていないことが多い。

そこで、本時では「出会う」段階の「道徳の時間」として、自分の生活を見直し、自分でやれることは自分でやろうとする意識をもたせることが必要と考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態に付いて

言われたことはきちんとやろうという素直な気持ちで行動ができる子どもたちである。学校では、担当区域の掃除を協力し真面目に取り組み、教室の机の整頓も声を掛け合い行っている。しかし、机の中の整理には個人差があり、自分でできず手伝ってもらおう子もいる。

家庭では、道具そろえなどは自分ですがノートの名前を親に書いてもらったり、忘れ物を届けてもらったりする子どもが少なくない。また「昨日はお母さんが だから。」など、忘れ物を家族のせいにするという子どもも多い。これは、親や教師がやってくれることが当たり前で自分のものだから、自分のことだから自分でやろうという気持ちが弱いためと思われる。このような児童に対し、自分のことは自分でやろうという気持ちをもたせ、意欲へとつなげていきたい。

(3) 資料に付いて

洋太はやっと自分の部屋ができうれしさにいっぱいである。しかし、自分の部屋は自分で片付けをという母の言葉も上の空で部屋は散らかる一方である。とうとう母に叱られ言い合いになってしまう。そんなとき、友達の良夫の部屋に行きあまりにきれいに片づいているのを見て、自分がなんだか恥ずかしくなってしまうという話である。自分の部屋を自分で片付けなければと考え始める主人公の心の動きをとらえさせることで、自分で考えて度を過ぎさない生活をするこの大切さに気付くことができる適切な資料であると考えた。

5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫 (仮説・・・手立て2とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

<資料提示の工夫>

- ・導入では、自分でできることさがしゲームの学級での結果を提示し、友達ががんばっていることを知らせ、資料への関心を高めさせたい。

<発問の工夫>

- ・主発問4の場面では、自分がはずかしくなり自分で部屋をきれいにしていこうと思うようになる主人公の心情を、補助発問をすることで深めていきたい。

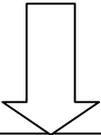
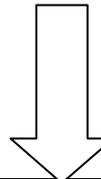
<書く活動を取り入れた展開の工夫>

- ・展開後段で、自分でやろうと努力していることに付いて振り返り、道徳ノートに書かせる。書く活動を通して、自分をしっかり見つめさせたい。

6 資料分析

場面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図・発問
<p>自分の部屋ができとても嬉しくなり、後片付けやそうじを自分でやるとお母さんと約束した。</p> <p>1ヶ月たち、部屋が汚れてきても一向に片付けをしないため、とうとうお母さんに叱られた。</p> <p>良夫の部屋に入ってドキッと、自分がはずかしくなった。</p> <p>良夫から、次は洋太の家で遊ぼうと言われて困ってしまった。</p>	<p>(洋太)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋ができうれしいな。 ・自分の部屋は自分できれいにしよう。 ・言われたことはちゃんとしよう。 ・片付けなんて簡単。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・後でやるよ。 ・面倒くさい。 ・うるさいな。 ・自分の部屋なんだから好きにしたっていいじゃないか。 ・やらないといけないかな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・良夫君の部屋はきれいだな。 ・ぼくの部屋とはちがう。 ・自分できれいにしたのかな。 ・良夫君は自分できれいにしてすごいな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったな。 ・やばい、片付けなきゃ。 ・自分の部屋は自分でちゃんと片付けよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の部屋はいいな。 ・自分の部屋だからちゃんと片付けた方がいいな。 ・片付けは簡単にできそう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ここまで汚くなるなんて。 ・片付けるのって面倒だな。 ・自分の部屋なんだからいいじゃない。 ・お母さんに言われたからちゃんと片付けた方がいい。 ・約束したのに。 <ul style="list-style-type: none"> ・良夫君の部屋は洋太の部屋とちがう。 ・お母さんが片付けたのかな。 ・良夫君が自分で片付けているなんてすごいなあ。 ・洋太は自分でやっていないな。はずかしい。 <ul style="list-style-type: none"> ・大変だ。 ・早く、片付けた方がいい。 ・自分の部屋は自分で片付けなきゃ。 ・自分のことは自分でやるう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の部屋ができうれしくなり、軽い気持ちでお母さんと約束をしたことを捉えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あと片付けや掃除を自分でやるように言われ、洋太はどんな気持ちだったでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・片付けるのは面倒で動かない様子と自分の部屋なんだからいちいち口を出してほしくないという洋太の気持ちに共感させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お母さんに怒られたとき、洋太はどんな気持ちだったでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・良夫が自分の部屋を自分で片付けていると知り、自分は片付けをしていないことがはずかしいと気付く洋太の気持ちをつかませる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>洋太はどうして、自分がはずかしいと思ったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・困ってしまった理由から洋太がこれからどうしていったらよいか考えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「うちは、ちょっと・・・。」の後、良夫はどんなことを考えたでしょう。</p> </div>

7 展開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 「自分でできることゲーム」の学級の集計結果を見て考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で起きられる人がいるな。 ・自分の部屋を掃除している人がいるな。 ・宿題を進んでやっているんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の結果を提示し、友達が自分がかんばっていることに気付き、ねらいとする価値への方向付けをする。
展開 前 段	2 資料「ぼくの部屋」を読んで話し合う。 あと片付けやそうじは自分でするように言われて洋太はどう思ったでしょう。  お母さんに怒られてしまったとき、洋太はどんな気持ちだったでしょう。  洋太はどうして自分がはずかしいと思ったのでしょうか。  「うちは、ちょっと・・・」の後、洋太はどんなことを考えたのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の部屋なんだから片付けをちゃんとするよ。 ・片付けなんてかんたんだ。 ・片付けるのは面倒くさい。 ・自分の部屋なんだからいいじゃないか。 ・良夫君の部屋はきれいすごい。 ・良夫君は自分で片付けているんだ。 ・ぼくの部屋は汚くなっている・・・ ・良夫君は自分でやっているのに、ぼくはしていない。自分が恥ずかしい。 ・それは困る。 ・まずい、僕の部屋はきたないから友達をいれられない。 ・早く片付けをしよう。 ・自分の部屋は自分で片付けよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の部屋だから片付けや掃除を自分でやろうと張り切って約束はしたが、軽い気持ちでしかないことを押さえる。 ・自分の部屋なのに、部屋を片付けようという気持ちがなくなっていることを押さえる。 ・自分の部屋なのに片付けをしていなかった自分がはずかしいと気がついたことを押さえる。 ・このままでは困るとどまらず自分の部屋は自分で片付けようという気持ちになったことを補助発問をしていくことで考えさせる。 (評)これからは自分の部屋は自分で片付けていこうと気がついたことを捉えることができたか。
展開 後 段 7分	3 今までの生活に付いて道徳ノートに記入し話し合う。 自分のことは自分でやろうと努力していることはどんなことですか。		<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできるようになったことや努力していることを書くことで自分の生活を振り返る。 (評)本時の価値を今までの自分と照らし合わせて、自分を見つめることができたか。
終末 5分	4 家の人からの手紙を読む。		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、自分でがんばっていることへの励ましを書いてもらい意欲をもたせる。

8 評価

自分のことは自分でやっという気持ちになれたか。

9 板書計画

自分の部屋は自分でかたづけよう。

- ・早く片付けよう。
- ・自分の部屋は自分で片付けなきゃいけないな。

ぼくの部屋

自分でできること
だれかにたよって

「しちはちよっと」。

自分がはずかしくなった

- ・良夫君の部屋はきれいだな。
- ・良夫君は自分で片付けているんだ。
- ・ぼくは片付けをしていない、はずかしい。

お母さんにおこられてしまった。

- ・めんどろだな
- ・いいじゃないか
- ・自分の部屋なんだからいいじゃないか、うるさいな。

あとかたづけやそうじは自分でやるのよ

- ・うれしー
- ・そうじなんてかんたんだよ。
- ・自分の部屋だからそうじをするぞ。

10 道徳ノート

道徳ノート

ぼくの部屋

自分のことは自分でやろうと努力していることとはどんなことですか。

(名前)

今日の学習をふりかえって)

(

友達や先生の話をよく聞くことができたか。

自分の考えを進んで発表することができたか。

書く活動ががんばったか。